

I 調査の概要

1 調査の目的

計画策定のための基礎資料として、市内在住の「就学前保護者」、「小・中学生、高校生」、「小・中学生、高校生保護者」、「一般成人」を対象として、アンケート調査を行いました。

2 調査対象

就学前保護者：3～5歳児の保護者（児童の年齢区分別に無作為抽出）

小学2年生保護者：指定する市立小学校2年生の保護者

小・中学生、高校生保護者：指定する市立小学校5年生、市立中学校2年生、
市立高等学校2年生（全日制）の保護者

小・中学生、高校生：指定する市立小学校5年生、市立中学校2年生、
市立高等学校2年生（全日制）の児童生徒

一般成人：18歳以上の市民（年齢区分別に無作為抽出）

3 調査期間

小学2年生保護者、小・中・高校生保護者、小・中・高校生本人：令和6年6月21日～
令和6年7月19日

就学前保護者、一般成人：令和6年7月9日～令和6年7月31日

4 調査方法

郵送による配布・回収及びWEBによる回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前保護者	700通	407通	58.1%
小学2年生保護者	629通	188通	29.9%
小・中・高校生保護者	1,688通	400通	23.7%
小・中・高校生本人	1,688通	1,007通	59.7%
一般成人	2,000通	753通	37.7%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。